

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	国際理解・外国人児童生徒教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育 サブプログラム

受験番号				

問1 次の用語等の中から3つを選び、それぞれについて日本語で説明せよ。()の中に選択したものを記入した上で、解答せよ。

- 排除と包摂 母語・継承語 帰国生教育 CEFR (ヨーロッパ共通言語参照枠)
 マイクロアグレッション 構造的暴力 移民教育 外国人児童生徒等対象の日本語のプログラム
 育成就労制度と管理支援機関 ことばの教育におけるスキヤフォールディング (足場かけ)

【解答欄】

<解答のポイント>

用語等の意味の定義、具体例、課題等をあげて、正確に説明している。

1 ()

2 ()

3 ()

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	国際理解・外国人児童生徒教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育 サブプログラム

受験番号				

問2 次の(1)～(3)の設問の中から、1つを選び、日本語で解答せよ。

- (1) 先住民にかかわる国際社会の取り組みについて、具体例を挙げ、あなたの考えを論じよ。
- (2) 現在の教育課程における国際理解教育の位置づけについて述べ、その意義と課題について論じよ。
- (3) 外国人児童生徒等の教育において、ライフキャリアの視点が重要だと言われているが、それはなぜか、あなたの考えを論じよ。
その上で、日本語の授業を設計する上で内容にどのような要素を含めたいか、具体的に活動例を示して述べよ。

【解答欄】

選択した設問番号 ()

<出題の意図>

- (1) 先住民にかかわる国際社会の取り組みについて、基本的な知識や概念の意味と、社会における実際の状況をどの程度理解し、検討することができるかを把握する。
- (2) 現在の教育課程における国際理解教育の位置づけについてどの程度理解できているか。また、その意義と課題について具体的かつ論理的に述べることを把握する。
- (3) 外国人児童生徒等の教育におけるライフキャリアの視点の重要性について、基本的な理論や概念を踏まえ、論理的に述べることができているか。外国人児童生徒等へのことばの教育実践について、具体的なイメージをもって考えることができているかを把握する。

令和7年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	国際理解・外国人児童生徒教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育 サブプログラム

受験番号				

問3 教職大学院入学後のあなたの研究計画について、日本語で記述せよ。先行研究について必ず言及すること。

【解答欄】

<出題の意図>

国際理解・外国人児童生徒教育に関して、本サブプログラムで探究する自身の研究テーマを、先行研究を踏まえた上で設定し、研究の目的及び方法について、具体的にどの程度検討することができるかを把握する。